望 ～ぼう～

2017 年 7 月発行
１５号

発達障がい支援フォーラム 2017 のご案内　　＊どなたでもご参加できます

日時；8 月 20 日（日）
会場；隠岐島文化会館
内容；①基調講演（講師：又村あおい氏／全国手をつなぐ育成会連合会政策センター委員）
②当事者を交えてのシンポジウム

○発達障がい基礎講座のご報告○

今年は、梅雨を通り越して夏が来たのかと思わせる日が続いていましたが、やっと一雨ごとに色を変える紫陽花が美しい季節となりました。皆様にはご機嫌のほどいかがでしょうか。

さて、５月２８日に行いました「発達障がい基礎講座」には４５０名を超すほどの多くの方にご参加して頂き誠にありがとうございました。最近、メディア等で「発達障がいって何？」といった特集が多く組まれるようになり、理解が深まるのを期待すると同時に言葉だけがひとり歩きしないことを切に願っているこの頃です。
そして、当センターで企画していますこれからの様々な研修にも是非参加していただき発達障がいという事実・現実を知り、正しい理解、愛ある理解が広まることを期待したいと思います。

親の会の活動

7 月	8 月	9 月
13 日（木） 自閉症協会雲南支部 場所：つつじホール 時間：10:30～13:00 20 日（木） 自閉症協会松江支部 場所：総合福祉ｾﾝﾀｰ 時間：10：00～12：00 19 日（水） ことばを育てる親の会 ひだまりの会 場所：松江市立第三中学校 時間：14：00～16：00 ＊希望者は連絡下さい。	3 日（木） 自閉症協会出雲支部 場所：療育ｾﾝﾀｰ燦々 時間：10:30～13:00 自閉症協会松江支部 8 月はサマーキャンプのため定例会はありません 3 日（木） 手をつなぐ育成会 「いいともおやとも子育て講座」 場所：松江養護学校 時間:10:00～12:00 24 日（月） 場所：中央小学校 時間：10:00～12:00	14 日（木） 自閉症協会雲南支部 場所：つつじホール 時間：10:30～13:00 15 日（木）自閉症協会松江支部 場所：総合福祉センター 時間：10:00～12:00 手をつなぐ育成会 「いいともおやとも子育て講座」　場所：時間：未定 27 日（水）ことばを育てる親の会 ひだまりの会 場所：松江市立第三中学校 時間：14：00～16：00 ＊希望者は連絡下さい。

ウィッシュ医療相談

診断・投薬はできませんが、医療に関わる心配ごとを相談できます。

月	日	担　当　医　師	場　　所	時　　間
7月	3日 （月）	いしいクリニック 石井尚吾先生（小児科）	《松江会場》 いきいきプラザ	① 13:30～14:30 ② 15:00～16:00
	12日 （水）	島根大学付属病院 松田奉行先生（精神科）	《出雲会場》 出雲保健所	① 13:30～14:30 ② 15:00～16:00
	13日 （木）	島根大学付属病院 長谷川有紀先生（小児科	《出雲会場》 出雲保健所	① 13:30～14:30 ② 15:00～16:00
	18日 （火）	医療法人青葉会松江青葉病院 藤本晶彦先生(精神科)	《松江会場》 いきいきプラザ	① 13:30～14:30 ② 15:00～16:00
8月	7日 （月）	島根大学付属病院 松田奉行先生（精神科）	《隠岐会場》 調整中	調整中
	9日 （水）	きむらこどもファミリークリニック 木村正彦先生（小児科）	《出雲会場》 出雲保健所	① 15:30～16:30 ② 16:30～17:30
	25日 （金）	鳥取大学付属病院 兼子幸一先生（精神科）	《安来会場》 安来中央交流センター	① 14:00～15:00 ② 15:30～16:30
	31日 (木)	島根大学付属病院 三木啓之先生（精神科）	《雲南会場》 雲南市役所	① 13:30～14:30 ② 15:00～16:00
9月	4日 （月）	いしいクリニック 石井尚吾先生（小児科）	《松江会場》 いきいきプラザ	① 13:30～14:30 ② 15:00～16:00
	7日 （木）	島根大学教育学部 稲垣卓司先生（思春期）	《松江会場》 いきいきプラザ	① 13:30～14:30 ② 15:00～16:00
	13日 （火）	島根大学付属病院 松田奉行先生（精神科）	《出雲会場》 出雲保健所	① 13:30～14:30 ② 15:00～16:00
	19日 （火）	医療法人青葉会松江青葉病院 藤本晶彦先生(精神科)	《松江会場》 いきいきプラザ	① 13:30～14:30 ② 15:00～16:00
	21日 （木）	島根大学教育学部 稲垣卓司先生（思春期）	《松江会場》 いきいきプラザ	① 13:30～14:30 ② 15:00～16:00
	29日 （金）	島根大学付属病院 長谷川有紀先生（小児科	《出雲会場》 出雲保健所	① 13:30～14:30 ② 15:00～16:00

＊予約制です(お一人１時間弱)。医師定期相談は医療にかかっていない方を優先させていただきます。

＊医師が必要と判断した時は発達障がいの専門的な検査を行うこと可能です。そのため、相談には臨床心理士が同席させていただきます（詳細はお問い合わせください）

＊医師との相談後、発達障がいに関する支援が必要であれば引き続きセンターでご相談もできます。

今回から「おじゃましま～す」のコーナーは、ウイッツシュを利用されている方たちの体験記にします。

私の物語 ～気づき編～

ウィッシュとの出会いは書店で手にした一冊の本からでした。
そのころ私は約４年間務めた介護福祉施設を退職し、精神的に不安定な日々を送っていました。「何故注意していてもケアレスミスが起こってしまうのだろうか」「口頭での支持が理解できず、頭が真っ白になる」「日々の業務に加え、役員や複数の委員会活動を同時並行することが苦痛で仕方ない」「電話対応が極端に苦手でコールが鳴るとパニック状態になり、自分の所属や名前を伝える言葉すら出てこない」「椅子にじっと座っていることができず都度注意を受けるが、どうしてもそわそわしてしまう」等、これらのことを自分の未熟さと考え責めていたのです。

そんな折、書店で「大人の発達障害 ADHD（注意欠陥多動性障害）／ASD（自閉症スペクトラム障害）」と書かれた書かれた本の背表紙が目にとどまりました。その場で本を手にした時の驚きは忘れられません。《まるで自分のことが書いてあるようだ》と感じたからです。ウィッシュへ相談する際もかなり迷い、躊躇しました。しかし今のまま立ち止まっていても、この先何も変わらないかもしれないという思いが背中を押してくれたのだと思います。

今ではウィッシュに相談して本当によかったと思います。何よりも安堵する気持ちが大きかったのです。私のように幼少期や学齢期に気づかれず成人を迎え、就労後困難が顕在化するケースがあります。発達障害特性を持つ人が社会生活をスムーズに送るためには、何らかの支援を必要とする場合が多いのですが、支援を受けることに抵抗を感じ踏み出せない方もいらっしゃると思います。同じく当事者である私の大学のゼミの先生の言葉ですが「捻挫しやすい選手がサポーターをつけてプレーに臨むことは、何も悪いことじゃないんだよ」と。

上手く支援を受けながら自身も工夫を続け、しなやかに生きてゆくこと。それは自立への第一歩だと思うのです。

★次回は津森さんに幼少期のエピソードを紹介していただこうと思います。新しい職場では、津森さんの今までの経験をもとに、職場と話し合いを重ね、働きやすい環境を作っていかれるようです。またその様子も取材いたしますのでお楽しみに(川上)

人種、性別、宗教なども含め、私たちがつくりあげてしまった様々な“違い”の感覚にとらわれず、全ての人々が共生していける時代となりますように。そんな願いをこめ、まずは相手を“知る”ことから･･･との思いで体験記を掲載いたします。(門脇)

発行元＊
「島根県東部発達障害者支援センターウィッシュ」　〒699-0822　出雲市神西沖町 2534-2（さざなみ学園内）
TEL 050-3387-8699/FAX 050-3730-9745　E-mail:wish@sazanami-g.jp　担当:門脇　編集長：川上